

## 行政視察報告書

委員会名（会派名）	総務文教常任委員会	報告者	岡山 秀義
視察日程	令和元年10月7日～10月9日		
調査事項 及び 視察地	① 子育て支援事業について NPO法人 こどもの里（大阪府大阪市西成区） ② 「広島平和記念式典派遣事業」関連施設を中心とした視察について 広島平和記念資料館（広島県広島市中区） ③ 「ゆめづくり地域協働プログラム事業」について 広島県 呉市		
参加議員（委員）	大原 伊一、タナカ・キン、岡山 秀義、田澤 信行、渡邊 雄三、長井 由喜雄 堀 勝重		
<p><b>【調査目的・内容】</b>          燕市では、本格的な人口減少社会のなか、「すこやか家族応援プロジェクトー人口減少ストッパー」を重点プロジェクトに位置づけ、安心して子どもを産み育てられるまちづくりに向けた子育て・教育環境の整備や、多様な保育サービス、子育て家庭への支援を総合的に進めてきた。          子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度のもとで、将来の子育て支援施策のより一層の充実に向け、次世代育成支援行動計画の施策評価や必要な見直しを行い、教育・保育・子育て支援の充実を図り、子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容や実施時期、子ども・子育て支援法に基づく業務の円滑な実施に関する内容を定め、計画的に給付・事業を実施することを目的に平成27年度からの5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画としている。          今回の視察については、大阪市西成区 NPO法人「こどもの里」の取り組み、地域と連携した子ども支援活動、相談事業・自主事業など「子どもたちの抱えているさまざまな問題」について学び、当市の施策に生かすことを目的とする。</p>			
①	<p><b>【所感】</b>          認定NPO法人・地域包摂子ども支援センター「こどもの里」では、西成区の子どもたちのさまざまな活動を40年に渡って行ってきた。この地域は「あいりん（愛隣）」と呼ばれ簡易宿泊所が集中し（ドヤ街）、日雇い労働者が多く居住している。最初は児童館として始まったが、しだいに家庭的養護の場や泊まることもできる「子どもの居場所」となった。登録は約100人で、幼児・小学生・中高生が三分の一。生活保護世帯が40%、母子家庭が50%。その中において、さまざまな困難を抱えた子どもたちに寄り添い活動している。          当市との環境は違うかもしれないが、どんな子どもにも家族のように寄り添い、子どもを絶対を守る姿勢に「本来の教育の姿」を見た。          「ひとりじゃないんだよ」「貧困と虐待は一緒に考え、しっかりと寄り添い、適切な対応をしていかなければいけない」と荘保理事長は最後に言われた。          当市においても、「子ども」と「親」にしっかりと寄り添い、共に考え連携し取り組んでいかなければいけないと強く思った。</p>		
②	<p><b>【調査目的・内容】</b>          当市では平成20年より非核平和宣言推進事業及び平和学習活動実施の一環として、毎年、広島平和記念式典派遣事業を行っている。今年度も国際的な視点を持ち、命の尊厳や平和の尊さについて理解できる生徒の育成を目的とし、市内5中学校から代表生徒それぞれ1名を広島平和記念式典に派遣した。          燕市人権教育・啓発推進計画策定にあたり、「世界の平和と人権尊重」「人権教育・啓発の推進」など被爆体験講話や平和記念資料館視察により「いのち」について考え、本市の施策に生かすことを目的とする。</p>		

**【所感】**

平和記念資料館では、元館長の原田浩様より被爆時の状況、体験講話をいただいた。被爆者で本人からしか聞けない当時の貴重なお話をいただいた。一瞬でなくなった多くの「いのち」をしっかりと後世に伝えていくことが広島使命であるが当時を知る人が減少し、行政の中にも原爆の体験について風化してきている傾向があると嘆かれていた。「広島原爆ドームを世界遺産に」を掲げ世界に平和を発信している。

私たちも他人事ではなく自分事としてしっかりと捉え、伝えていかなければいけないと思う。

**【調査目的・内容】**

少子・高齢化、環境問題、防災、防犯、魅力ある都市づくりなど、地域社会の課題は、ますます複雑・多岐にわたり、個別化している。これらの課題に、法令などに基づく公平な画一的なサービスだけでは十分対応できないケースが多くなっている。

視察では、さまざまな市民のニーズに柔軟に対応、きめ細やかで多様なサービスを実現するために本市と同じ規模である呉市の地域協働事業「ゆめづくり地域協働プログラム」について学び、本市の施策に生かすことを目的とする。

**【所感】**

③ 特色ある地域資源を最大に活用した「自主的で自立した地域活動」は、これからのまちづくりの中核をなすものと考えており、そのためには、地域の自主的で自立した活動の構築、すなわち「地域力の向上」を図る必要がある。

呉市では、地域を包括する住民自治組織（まちづくり委員会など）との協働による「地域協働型」のまちづくりを積極的に推進している。

地域住民が誇りを持って安心して暮らせる地域とするため、地域自ら自立した存在として力を高め地域力の向上を目指している。

本市においても「地域力の向上」はこれからの大きな課題といえる。呉市のように「地域協働」していくにあたっての自治体への助成金や人材育成など多くの課題がある。しかし、本市で活動中である「地域支え合い活動」など地域と密着した協働の向上を目指し、より住みやすい燕市にしていきたい。

【視察の様子】

① NPO法人 こどもの里



② 広島平和記念資料館



【視察の様子】

③ 広島県 呉市

